

令和5年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

中等教育教員養成課程

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に横書きで記入すること。
2. 解答紙には、かならず受験番号を記入すること。

令和5年度前期日程入学試験問題

問題訂正

中等教育教員養成課程

◎科目名 小論文

1 ページ 本文下から4行目 下線部を訂正

(誤) . . . 学びが重要なのです。

(正) . . . 学びが必要なのです。

〔問〕 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

日本人が読書に費やす時間は、困ったことに減る一方です。

学校を卒業して社会へ出たら、なおのこと、それまで以上に本を読まなくなるよう
です。

もちろん、気になる情報はインターネットでまめにチェックしている、友だちとは
携帯電話でメールをひんぱんにやりとりしている、という人は少なくないでしょう。
こんな人は、文字そのものに接する時間は意外と長いのかもかもしれません。

また、仕事に必要な知識やノウハウを身につけるための勉強はしているという人も
多いと思います。

しかし、文学や哲学、芸術、科学など、日常生活や仕事を離れた分野の本を最近読
んだでしょうか。そうした本を読むことは、腰を落ち着けて学ぶということです。現
代の日本人はそんな学びをほとんどしなくなっているのです。

生きる呼吸が浅くなっている——。私はそう思います。

「生きる呼吸が浅くなっている」というのは、すぐに見返りを得られる勉強しかしな
くなっているということです。

福沢諭吉は蘭学を学び始めたころ、「こんなに難しい書物を読むのはわれわれだけだ
ろう。だから、学んでも（お金を取って誰かに教えることは期待できないから）一銭
にもならない」と思っていたそうです。

学ぶのが面白いからそれを学ぶ。諭吉はそうした見返りを求めない学びに没頭した
時期が、自分を育てたと語っています。

これに対し、見返りを早く求めすぎる現代の学びは、人間を小さくしてしまうと思
います。

また、生活のテンポがどんどん速くなり、人が受けるストレスは増すばかり。生き
る呼吸が浅くては、そのストレスにも応じきれません。

だからこそ、生きる呼吸を深くする学びが重要なのです。

学ぶことは、まさに「呼吸」をすることです。呼吸によって新鮮な酸素を取り込む
ことが身体に新たな活力をもたらすように、学びは新たな自分を形作る材料をもたら
します。学んで新しい知識などを吸収することによって、自分が生まれ変わるのです。

生命体である人間の細胞は常に入れ替わっていますが、私たちはそれを実感することができません。しかし、学ぶことで心の細胞がリフレッシュすると、「自分」が少しずつ入れ替わり、再生していくのが実感できるはずです。

そして、「自分は学びによって前進しているのだ」という強い気持ちが生まれると、いま抱えている悩みや不安はだんだん後ろへ遠ざかっていきます。それらを完全になくすことはできなくても、相対的に小さくすることができる。これが学ぶことの良さの一つといえるでしょう。

人は誰でも小さなことにくよくよし、他人をうらやんだり、ねたんだりしながら生きています。一番いけないのはそうした悩みや不安が自分の中で肥大してしまうこと。本当は取るに足りない問題なのに、気になってほかのことが手につかない状態になってしまうことです。

それを防ぐ最も簡単な方法は、「学び」に本格的に向き合うことです。学ぶことで生きる呼吸を深くすれば、悩みは相対的に小さくすることができるものなのです。

出典：齋藤孝、『人はなぜ学ばなければならないのか あなたが「学ぶ」ことの意義を語ろう』、実業之日本社、2011年、pp.1～3.

(設問の都合により本文の一部を改変している。)

(問1) 筆者のいう「生きる呼吸を深くする学び」とは、どのような学びを意味しているのか。70字以上100字以内で答えなさい。

(問2) 学ぶ意味を中学校の生徒に問われたとき、あなたはどのように答えますか。課題文の内容とあなたの経験をふまえながら、自己の考えを300字以上400字以内で述べなさい。